

平成28年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：平成28年4月～平成29年3月

1. 学校概要

学校名 石川県金沢市立西南部小学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 中高一貫教育 高等学校
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他 ()

所在地 〒921-8063
石川県金沢市八日市出町304番地

E-mail seinanbu-e@kanazawa-city.ed.jp

Website http://cms.kanazawa-city.ed.jp/seinanbu-e/

児童生徒数 男子 311名 女子 318名 合計 629名
 児童・生徒の年齢 6歳～12歳

2. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ()

3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

金沢市立西南部小学校

〔はじめに〕

本校は、全校児童629名、教職員41名の大規模校である。

金沢市の西南部地区に位置している。以前は田や畑が広がる地域で会ったが、今では学校の周りはスーパーや飲食店、商業施設、住宅へと変化してきた。学校から少し歩くと、JR北陸線の西金沢駅もある。町並みは変わりつつあるが、チカモリ縄文遺跡があったり、地域のチカモリジョウガラ踊りがあったりするなど、古くからの文化もある地域である。

昨年度、ユネスコスクールの認定を受け、金沢の伝統に触れる学習を通して、持続発展教育の実践に取り組んでいる。

見つけよう 感じよう 伝えよう 金沢の伝統文化
～金沢の魅力をこれからも～

1 ユネスコスクールとしての取組

(1) 3年生（金沢の生活に根づく和菓子）

金沢ならではの和菓子と茶の湯の文化との関連を理解し、生活への理解を深めるため、正月に食べる和菓子に着目し、調べ学習を行った。すると、他の地域では見られない金沢独自のものが幾つもあることに気づいた。今まで当たり前だったことが、他の場所では当たり前でないことや、以前はどの家庭でも行われていたことなどが、生活の変化から行われなくなってきたことに気づいた。

そして、金沢の伝統文化として伝えられる和菓子づくりを職人マイスターの方に来ていただいて、保護者の手伝い、支援も受けながら、体験することができた。職人さんの和菓子に対する思いや精度の高い技術に触れ、和菓子作りの温かさやすばらしさに気づくことができた。



(2) 4年生（伝統工芸に触れよう）

北陸新幹線のキャラクターである「ひやくまんさん」には、5つの石川の伝統工芸が取り入れられていることを知り、金沢にはどのような伝統工芸があるのかを調べた。そして、自分が興味をもった工芸品について調べ学習を行った。調べ活動は、計画を立て、インターネットや資料、実際の工芸品を活用し、まとめた。これらの工芸品は、形や用途が昔と変わってきていることに気づき、伝統工芸を残そうとする人たちの努力に気づくことができた。そして、金沢の伝統文化をこれからも伝えていくために、自分たちにできることとして、伝統工芸の新たな活用方法について考えた。伝統工芸品の良さを取り入れた、身近な物を考えることで、様々な伝統工芸をより身近に感じることもできた。また、考えた工芸品を他の学年に発表することで、伝統工芸品の良さを伝えることができていた。さらに、職人マイスターの方に来ていただいて、貼函作りを体験した。金沢の伝統文化の一つである貼函を作ることで、伝統文化は非日常なものではなく、身近で日常的に使用できるものもあることを体験を通して学んだ。



5年生（明日の西南部をつくるわたしたち）

国語科の学習と関連させて、校区がどんな街になってほしいか考えた。そのために、まずは今住んでいる自分の街はどんな街なのか見つめ直した。その後1回目の交流会で、お年寄りの方から過去の校区の様子を聞き取り、お年寄りが未来の街についてどんな願いを持っているのかを知ることができた。その願いを受けて、自分たちが今できることは何かを考え、町会のグループごとにポスターにまとめていた。「プランターを置き、緑を増やす」、「町会に呼びかけ、清掃活動をしきれいな街にする」「進んで大きな声であいさつし、あいさつがあふれる街にする」など分かりやすくまとめることができた。お年寄りとの2回目の交流会ではスカットゴルフなどの仕方を教えてもらい触れ合いの時間の後、子どもたちの提案を発表し、未来の西南部について一緒に考えることができた。



(4) 6年生（かなざわ博士になろう）

今までの学習で金沢について学んできたことをさらに深く学ぶため、金沢の歴史、偉人、地域の特色についてさらに調べ学習を行った。また、調べたことをパワーポイントでまとめ、伝え合う時間を設けることで、自分の調べたことだけでなく友だちが調べたことを知り、金沢について深く知ることができた。調べた内容について、もっと知りたいことや疑問を解決するために、金沢の名所や旧跡・資料館などへ足を運んだ。実際にそこで生活する人たちと触れ合うことで、知識を得るだけでなく体験を伴うことができた。その後、調べ、学んだことを再びパワーポイントでまとめ、伝え合った。

尾山神社へ…

みんなで、尾山神社を拝観したのがとても印象的でした。ふだんあまり見ないのですね。楽しかったです。また、スライド資料も作って発表しました。



2 成果と課題

(1) 成果

- ・中学年は実際に和菓子や貼函を作り、金沢の伝統文化に触れ、伝統文化を身近に感じることができた。
- ・学習を通して、そこに携わる方々の話を聞くことができた。
- ・伝統文化を生活の中に取り入れる視点を持たせることで、伝統文化の良さに気づくことができた。また、それらを守り多くの人に伝えるためには、生活のニーズも考えることが大切だと感じた。このことから、相手意識を持つことができた。
- ・5年生はお年寄りの方から話を聞くことで、自分たちの生活を見直し、他者の意見を取り入れながら、より良い未来について考えることができた。
- ・6年生は3年生からの学習をふり返りながら、金沢の良さについて考えることができた。
- ・他学年、外部の方への発表の機会を設けることで、学習意欲を高めることにつながった。

(2) 課題

- ・他者への発表の機会を設定することができたのは一部の学年だったので、3年生以上の学年が、発表、交流の機会を設定すること。
- ・学習内容の必要感を児童に持たせるために、課題を工夫すること。
- ・総合的な学習の時間のカリキュラムにおいて、国語、社会などの教科と横断的に取り組むことができるようにすること（持続発展教育カリキュラム）。
- ・校内でユネスコスクールについての理解を深めたり、各学年の実践について交流したりする研修会を設定すること。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（

）